

玖珠町の

トップセールスマンとして 働きます!

玖珠創世の会

通信 Vol.2

代表 神田 信浩



「構造改革」を行い

「財源を生み出す」

— 人脈と情報は町を動かす力です —



〒879-4412 大分県玖珠郡玖珠町大字山田 2491-2 TEL 070-8906-5120 FAX 050-3452-3137
http://Kanda-nobuhiro.com

●急激な「人口減少」をくい止め未来を切り拓きます!

玖珠町誕生から66年、「人口減少社会」を見据えた「備え」や「体制づくり」が急務となっています。急激な「人口減少」をくい止めなければ未来を切り拓くことはできません。(昭和30年2万8,622人→現在1万4,694人→25年後8,500人を割り玖珠町消滅!という最大の危機に直面するのです。)

玖珠町の「歳入」ですが、「町税」を町民1人当たり180,447円納め、国から「地方交付税」も1人当たり199,469円を得て、さらに「国県支出金」も1人当たり210,894円を加えて、「歳入」が整えられています。

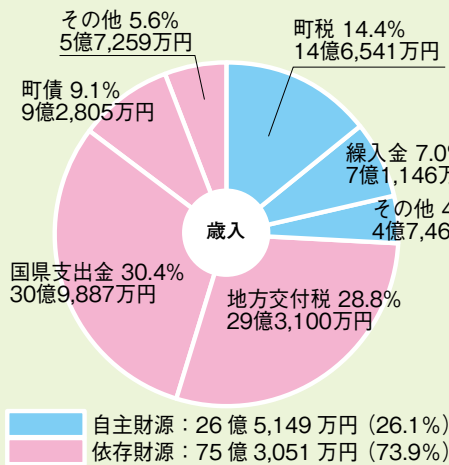
他方「町の財政基金」は、減り続けて35.2億円(1人当たりの貯金は、239,553円)。「町債(債務)」は、毎年増え続け82.3億円。(町民1人当たり560,092円の借金を負い、残り18億円余で歳入を負債が上回ります)

国の債務(借金)は、1,216兆4,634億円(1人当たり987万円、GDPの2.56倍の借金をしています。G7の国々では突出した借金依存体質です)。私達は、国と県と自治体とトリプルで、債務(借金)を抱えているのです。

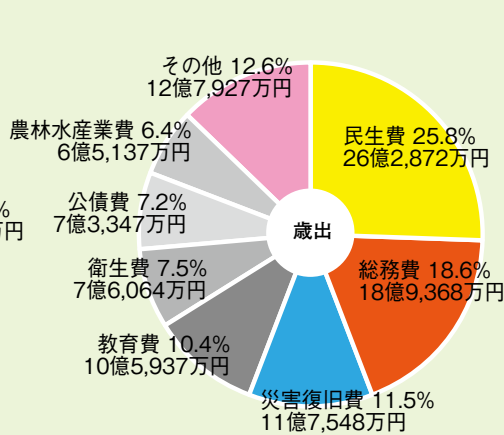
このように「人口減少」は、「財政面」(実質・経常各取支比率、財政力指数が悪化)や「制度面」でも大きな負荷を私達に強いているのです。「町の財政」が硬直化し、政策的投資が難しくなっています。

自ら「歳入」を創り出す力を備えなければ施策の遂行に支障をきたす事態が起こりかねません。

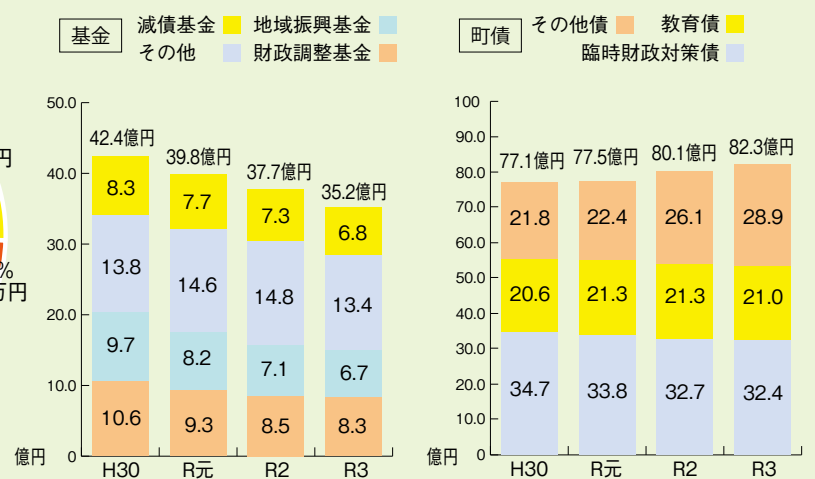
歳入構成と比率



歳出構成と比率



基金と町債の残高 (見込み)



●「税収」と「雇用」を創り出す力を備えます

- 一定規模の人口が維持され、「担税力」や「購買力」が備わります。急激な「人口減少」を防ぎ、基幹3税(所得税・法人税・消費税)を得て、国からは「地方交付税」等を手当てして、国の補助金・交付金を得て、「歳入」の安定化を図ります。
- 「ふるさと納税」(令和2年 5,409万円)にも力を入れ、返礼品の魅力化を図り「玖珠町の返礼品のブランド力」を高めて、玖珠町も自らの「稼ぐ力」と「税収」を生み出す力を備えなければなりません。
- 国の防衛を担っていることに誇りを持ち「基地交付金」、「調整交付金」に加え、「特定防衛施設周辺整備調整交付金」、「国有提供施設等所在市町村助成交付金」、「国有資産等所在市町村交付金」を始め各種助成事業の増額を図り「歳入」の強化に努めます。
- 「企業誘致」を積極的に推進し「雇用」を生み出し、「税収」につなげて行きます。



●急激な「人口減少」を防ぎ「教育の充実」と「女性と子どもが主役となる」町づくりを目指します

- 20代~39歳の女性が、急激な人口減少を防ぐ解決の「鍵」を握ります。
- 現在、第一子の「出産年齢」である30.3歳を→20歳代後半へと割合を高める努力を行います。結婚適齢期の皆様を支援する「結婚支援」、子育て中は、「未就学児童家庭への支援」、就学中は「児童就学支援」、「家賃支援」等(所得制限を設けます)幅広い支援措置を行い、町の未来を担う女性や子どもたちのサポートを推進します。
- 育ち盛り子どもたちに「食育」の重要性を学んでもらい、食材の地産地消を推進し「給食」の無料化に向けて努力を傾注します。
- 女性の働き方を支援し、町の身近なところに働く場所を創り出し、女性が「仕事」と「出産」と「子育て」を両立できるようにすべき時代を創り出す積極策を講じます。



町づくりに向けた各種施策を推進します



この町に住みたい！住み続けたい町づくり

各地区の「コミュニティ」を活用し、住民主体による充実した公共サービスが受けられる町づくりを推進します。

さらに「コミュニティ」の自主性の尊重と行政との連携により細やかな地域サービスを作り上げていきます。



玖珠の肥沃な緑の大地・耕地の活用策を推進します

農地の有効活用を行い「国の制度」を使いながら、農業収入の増大につなげていきます。

「気候変動対策」で重要な役割を担う森林・林業・木材産業の重要性を踏まえ、治山・森林整備事業を推進します。



公共施設や公共インフラの長寿命化施策の取り組み

今後耐用年数を迎える学校施設や公民館等公共施設の長寿命化対策、道路・橋梁・ガードレール、簡易・上水道等の整備・改修を進めます。



「玖珠工業団地」への「更なる企業誘致」を推進します

新栄合板工業(株)大分工場に続く、「企業誘致」に向けて、進出企業を国や県とも協議しながら積極策を講じて誘致を推進し、玖珠町の「雇用増大・確保」を図ります。



観光「玖珠町の魅力化」施策を推進します

観光資源を磨き、観光拠点を整備・PRし、玖珠町を訪れて「来る楽しみ」、「交わる楽しみ」、「食の楽しみ」により流入・交流人口の増加につなげていきます。



農業の振興・農業の「稼ぐ力」を導き出す

「玖珠米」・「玖珠牛」のブランド力の向上・高付加価値化を推進します。

「玖珠家畜市場」の活性化、強化策を行い「キャトルブリーディング・ステーション」も視野に入れ対応を講じます。

各農家が「夏秋野菜」などを消費地にいち早く出荷できるように「衛生管理型の出荷拠点」を整備します。

一大消費地への「アンテナショップ」構築も視野に入れ、「玖珠産品の魅力」をPRし売上拡大を図ります。



児童・生徒の教育環境の整備充実を図ります

各小学校・星翔中学校・玖珠美山高校のハード・ソフト施設整備と、子どもたちの「学ぶ力」を引き出し「GIGAスクール構想」を推進し、子どもたち1人ひとりに最適化され、創造性を育むICT環境の整備を充実させ、IT情報端末を活用した「環境整備」を図ります。

中学校の跡地利用についても地域の皆様の意見を踏まえながら対応を行います。



今後起こりうる災害に対応した安心・安全な町づくり

あらゆる災害(アフターコロナを含め)を想定して、情報収集力を生かし情報伝達力を高め、避難場所(対応施設)等、国・県・医療機関・自衛隊・消防・警察とボランティアとの避難・救助体制の整備強化に努めます。

さらに、自衛隊を始め各機関との連携・共働を推進し準備を図ります。



移住・定住の促進を図り外客・交流人口の増加を図ります

今後のデジタル化の促進は、都会との距離感を縮めていきます。関係人口の増加と都会からのUターン・Jターン・Iターンを促進し、「住みたくなる町」づくりを行います。

住宅のマッチング(「空き家バンク」の充実)や「住みたくなる町支援措置」や「移住・定住相談」・「移住者交流会」の充実を図ります。



安心の医療・福祉施策で「健康長寿日本一」を目指す

医療供給体制の機能強化と連携を目指して、介護・障がい者福祉施策の充実を努めます。

生涯スポーツを推進して「健康長寿日本一」を目指します。



神田のぶひろ (主な履歴)

- 自由民主党本部政務調査会勤務 (安全保障・防衛政策、行財政改革を担当)
 - 衆議院副議長秘書(政務担当秘書官)
 - 清和政策研究会(細田派)秘書会会長 (自由民主党最大会派の秘書会会長)
 - 衆議院議員政策担当秘書
 - 自由民主党九州国会議員の会秘書会会長 (自由民主党九州選出衆参両議員56名の秘書会会長)
- 早大院専修、駒澤大学法卒



緊迫の度を増す極東アジア情勢を踏まえ、わが国の防衛・安全保障諸施策の重要性が増しています。(私が勤務時代、防衛省の予算・施策・諸課題の解決に共に汗を流して頂いた新貝正勝前中津市長と共に)